



はじめまして、聖陵学院高田校校長の中村祐介です。今まで高田校の校長としては7年間、塾講師としては16年間、子どもたちの指導をしてきました。

血液型はA型、松阪牛で有名な、三重県松阪市出身、大学受験を大失敗して浪人することになった18歳から地元を離れて、今年で21年になります。ちなみに、松阪はまつざかではなく、まつさかです！！！！地元民は『まつつあか』といいます。お間違いないようによろしく願いいたします（笑）

今まで、大阪で浪人、京都で大学、奈良で大学院、和歌山で塾講師と紀伊半島を一周してきたため、松阪弁をベースにした、大阪弁、京都弁、奈良弁、和歌山弁

がごちゃ混ぜになった、『いんちき関西弁』を話します。（笑）。

人から言わせると『感覚が独特』『個性的』とよく言われます。確かに、人がしないようなことをいろいろと試したり、新しいことにチャレンジしたりすることは好きです。また、小さいころからキャンプ、アウトドア、国内外問わず旅行も大好きです。海外は12か国、特に、大学で研究対象だった台湾には、研究旅行で3回ほど行きました。その中でも最も思い出深いのが、台湾のとある田舎の村に行った時の話です。

この時の目的は、村の小学校で使われている教材をいただきに行くことでした。小学校に事前に連絡する手段の見当がつかなかったので、アポなしで飛び込みです。

目的の村の最寄り駅に降りた瞬間に、改札付近で鶏があばれてました。駅員に聞いてみると、なんと野良の鶏！私は野良の鶏を始めてみました！これはえらいとこに来たと思ったのですがここから運が向いてきます。村までの移動手段は15キロほど徒歩(!)の予定だったのですが、偶然、近くの個人商店で出会ったご夫婦と仲良くなり、トラックの荷台に乗せてもらって送ってもらいました。荷物のように運送されて無事小学校につき、校長先生に取り次いでもらって、目的のものを無料でGET！アポなしだったにもかかわらず、日本人が来たという事で歓迎会を開いてもらって、カラオケをしたり、カタツムリ(!)の炒め物をいただいて、津軽海峡冬景色やテレサ・テンの歌をみんなで熱唱しました。台湾は、おじいさん、おばあさんくらいの世代の方は日本語がペラペラです。帰りはその食堂のお姉さんに、駅まで車で送ってもらいました。まさにミラクル。運がいいとしか言いようがありません。さらにこの話には続きがあって、3回目台湾に行った時、私が行った村とは別の村で、同じように村の人に誘われて、村に行ったら睡眠薬を飲まされて身ぐるみはがされて帰ってきたというニュースがテレビで流れていました……。ほら、運がいいでしょう？（笑）

そんな私は、今、聖陵学院高田校で校長をしています。毎日、子どもたちの事を考え、どうやったらその子が勉強できるようになるのかを考えています。一人一人に合わせた声のかけ方、その子に合わせた指導の方法をいつも考え、指導しています。楽しく、わかりやすく、学力がつく、ためになる授業で生徒の皆さんの世界と、未来への可能性を広げます。是非、高田校にお越しください。一緒に明るい未来を手に入れましょう！